

第46回 歴博映画の会

バリと日本の 『送魂儀礼』

上映
と
解説

2025 年

10月4日（土）

13:30～15:30（開場 13:00）

会場：国立歴史民俗博物館講堂

入場無料 / 当日先着順（240名）

主催：国立歴史民俗博物館 協力：国立歴史民俗博物館友の会

第 46 回 歴博映画の会

国立歴史民俗博物館には、制作及び収集してきた民俗と歴史の記録映画があります。

これらの映像を通じて民俗と歴史への知識と理解を深めていただくとともに、歴博の研究活動を広く皆様に知っていただきたいと思います。教員による作品解説も行います。皆様お誘いあわせのうえ、おいでください。

今回の映画の会では、送魂儀礼に焦点を当て、日本列島とバリ島の事例を解説する。

『日本の送魂儀礼一盆の送りー』で扱う映像素材は、坂本要氏（民俗学者）が念仏踊りの成立と変遷というテーマのために、現地調査の資料として撮影したものである。

当初、公開する目的はなく個人的な研究資料として撮影されたが、資料映像は 700 本を越える。本作は、その中から 14 か所を選び、坂本氏監修の元、春日聡（本館客員准教授）が編集・整音してまとめた記録映像作品である。撮影初年の 1978 年から 45 年以上が経ち、途絶えた行事も増え、送魂儀礼を取りまく状況は大きく変化している。当時の様子やその後の状況について、坂本氏が解説する。

バリ島の送魂儀礼では、バリ＝ヒンドゥーの宇宙観に基づき、死者の霊魂がより高位の祖先霊へと上昇することが希求され、手厚い儀礼が死後数十年にわたって繰り返される。火葬儀礼はそのはじまりの儀礼である。

『ンガベンーバリ島ルクルク村の火葬儀礼ー』は、市井の人々における火葬儀礼の 1 日をまとめた記録映像作品である。

『日本の送魂儀礼一盆の送りー』（監修・撮影：坂本要、編集・整音：春日聡／2017 年／38 分）



『ンガベンーバリ島ルクルク村の火葬儀礼ー』（監督・撮影・録音・編集・整音：春日聡／2017 年／30 分）



解説：春日 聡（国立歴史民俗博物館 客員准教授）／坂本 要（筑波学院大学名誉教授・まつり同好会代表）

2025 年 10 月 4 日（土） 13：30 ～ 15：30（開場 13：00）

会場：国立歴史民俗博物館講堂

申込不要・入場無料

（当日先着順 240 名）

【お問い合わせ】

国立歴史民俗博物館 広報課
043-486-0123(代)
sfukyu@ml.rekihaku.ac.jp



れきはくホームページ

（一財）歴史民俗博物館振興会
043-486-8011(平日 9：00 ～ 17：00)
tomonokai@rekishin.or.jp



友の会ホームページ



【京成電鉄ご利用の場合】京成佐倉駅下車、バス約 5 分。徒歩約 15 分。

【JR 東日本ご利用の場合】総武本線佐倉駅下車、バス約 15 分。

【自動車ご利用の場合】東関東自動車道、四街道 IC または佐倉 IC から約 15 分（無料駐車場完備）